

笑顔・元気・愛情いっぱい！高島第一小学校
すべての人に居場所と出番があり、ともに学び続ける学校を目指して

昭和46年4月に開校した本校は、保護者や地域の方々に愛され、支えられながら、多くの子供たちを健やかに育ててきた学校です。公立学校は地域人材の育成のためにあります。ここまで築き上げてきた伝統を守り、さらに発展させるために、保護者・地域の方々・教職員が思いを一つにし、ともに協働していくために経営方針を以下に示します。

1 教育目標（目指す児童像）

今、少子高齢化による生産年齢人口の減少、グローバル化やイノベーションによる急激な社会構造の変化、地球温暖化、価値観の多様化などの様々な問題の解決に挑戦していかなければならない時代がやってきています。また、この数年の AIをはじめとした科学技術の革新は目覚ましく、使い方によっては、世界的な規模の幸福も不幸も現実となる可能性を秘めています。

このような時代を生きる子供たちには、前例にとらわれず、新しいものへ積極的に向き合いながら、身近な課題を自分事と捉え、多様な他者と協働し、解決する力の育成が求められています。どのような困難に対しても、主体的に解決に取り組み、仲間とともに協働し、乗り越えるたくましい子供たちが、「ともに生きる社会」「持続可能な社会」をつくる担い手となります。そこで、高島第一小学校では、以下のような子供の育成を目指します。

学校教育目標

- 明るく元気な子ども 心身ともに健康で、前向きに生きる子どもの育成
- よく考え根気強くやりとげる子ども 主体的に考え、諦めずに努力する子どもの育成
- 仲よく助け合う子ども 相手を尊重し、人のために働ける子どもの育成
- 素直で礼儀正しい子ども 言葉と態度で感謝を伝えることができる子どもの育成

2 目指す学校像

笑顔・元気・愛情いっぱい！高島第一小学校
すべての人に居場所と出番があり、ともに学び続ける学校を目指して

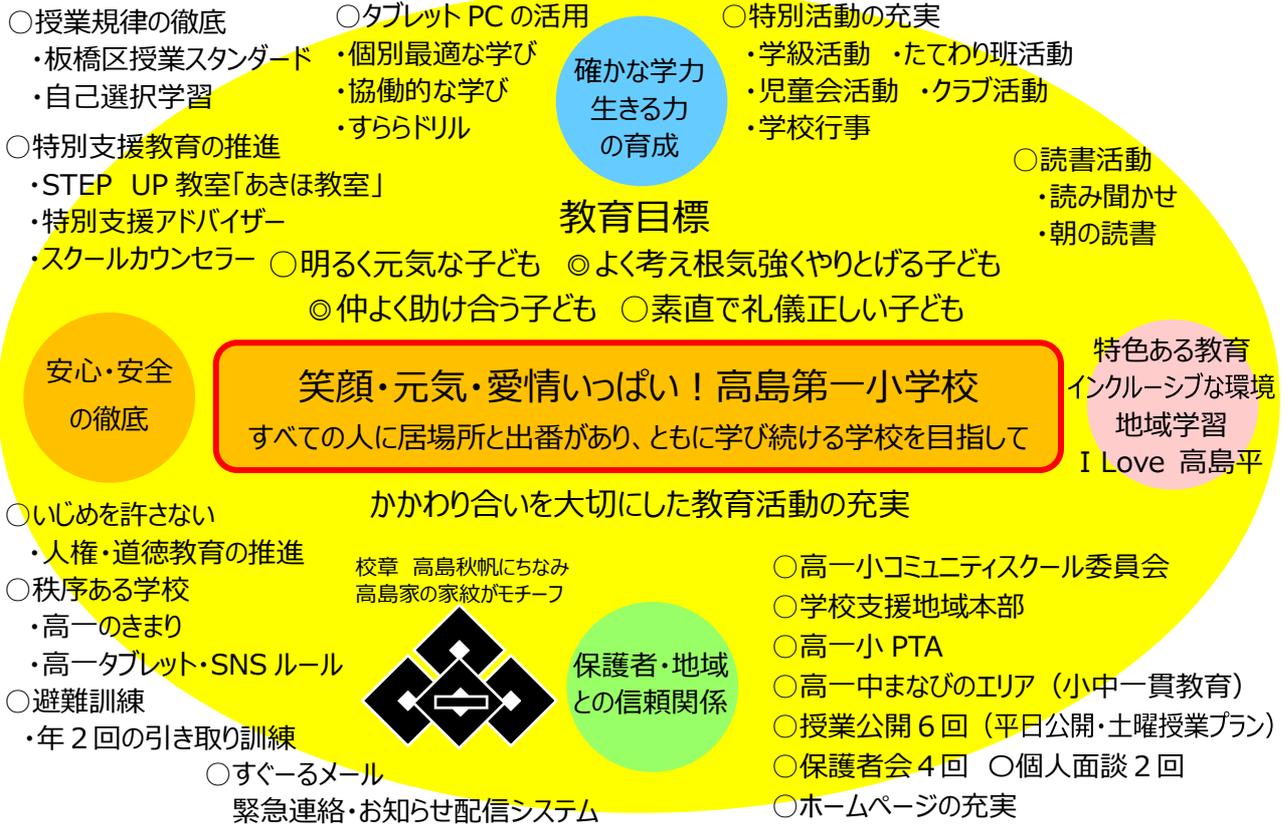
- 笑顔・元気・愛情いっぱいの子供たち 「学校が好き、友達が好き、自分が好き」
- 笑顔・元気・愛情いっぱいの保護者・地域の方々 「通わせてよかった」「わがまちの誇り」
- 笑顔・元気・愛情いっぱいの教職員 「子供の笑顔のためにともに働く喜び」

学校は学ぶところです。教科はもちろんのこと、人との関わり方、社会規範など、社会で生きるために必要なことを学ぶところです。まさに「生き方」を学ぶところです。そして、その学びは、大人になっても続きます。

そのような「生き方」を学ぶことのできる学校を目指す上で、その土台となるものは、子供同士、子供と教師、学校と保護者・地域の方々の よりよい人間関係です。できないことや失敗を助けてくれる友達がいる。困ったことがあると親身に相談のってくれる先生がいる。学校の課題解決に協力してくれる保護者・地域の方々がいる。そのような学校は、すべての人に居場所と出番があり、ともに学び続けることのできる学校です。

そのような「ともに生きる」喜びに満ちあふれた笑顔・元気・愛情いっぱいの学校を目指します。

令和7年度 学校経営方針【ランドデザイン】



3 主な取組や変更になる取組

(1) 5組（特別支援学級）の教室が南2階

これまで専科棟にあった5組低学年教室を南2階にして、全学級の教室が南校舎になります。

(2) 1年生の40分授業

1年生については、入学当初に40分授業を実施し、子供同士で関わり合う時間を生み出し、よりよい人間関係の基礎をつくります。

(3) 夏季水泳指導の廃止と通常の水泳指導の早めの実施

ここ数年は、夏の猛暑のため、熱中症の危険が高まり、7月頃から通常の水泳指導の難しい日が多く出ています。水泳指導期間を早め、6月上旬には水泳指導を開始し、1学期末で水泳指導を終了します。

夏季水泳指導については、猛暑下での登下校の心配も重なることから中止します。

(4) 保護者会のオンライン配信

保護者会は、保護者同士のつながりをつくるために、できるだけ参集していただき、顔を見てコミュニケーションを図る機会ですが、都合のつかない保護者のために、オンラインでの配信も行います。

(5) 授業公開日について

土曜授業プラン、平日授業公開日は、各学期にそれぞれ1回ずつ（年間6回）実施します。この日以外でも、いつでも学校に来ていただくことができますが、安全上、事前に担任までご連絡いただき、受付を済ませてください。

(6) 清掃時間について

6月より、水曜日の帰りの会后、15分間の清掃時間を設けました。自分たちの教室は自分たちできれいにするを「当たり前のこと」として指導していきます。